

平成26年度市長施政方針

市民とともに60年未来を拓くわがまち狭山

平成26年第1回定例会市議会(会期:2月25日～3月19日)で、仲川市長が市政運営に向け、施政方針を述べました。その概要と26年度の重点事業をお知らせします。

施政方針を述べる
仲川市長



本年は、市制施行60周年となる記念すべき年です。これまでの歴史を真摯に受け止め、伝統や文化を継承しつつ、新たな時代を市民とともに築いていかなければならないと肝に銘じ、60周年のテーマを「市民とともに60年未来を拓くわがまち狭山」としました。

平成26年度は、第3次総合振興計画後期基本計画の4年目となり、市の将来像である「緑と健康で豊かな文化都市」の実現に向けて、「協働の推進」、「子育て支援」、「都市基盤の整備」の3本柱とともに、「市民の安全・安心」にも意を配し、取り組みを進めます。

特に、「協働の推進」では、行政の抱える課題解決に向け、市民・事業者・行政が役割を分担し、協働で事業に取り組みます。また、本年4月には狭山元気大学と狭山シニア・コミュニティ・カレッジが統合して、新たな市民大学として生まれ変わる予定であり、さらなる市民力の強化により、元気な狭山を築く力になるものと思います。「子育て支援」では、本年4月に

緑豊かで環境と共生する
まちをめざして【環境共生】

地球環境の保全は、地球温暖化防止対策を目的とした自然エネルギーの活用促進を図るため、引き続き住宅用太陽光発電システム設置補助事業に取り組みます。

緑地保全の推進は、平地林をはじめ、斜面緑地の保護や市街地に残された緑地についても、みどりの基金を活用しながら保全に取り組みとともに、市民団体などと協働で緑地保全活動を推進します。

循環型社会の形成は、不要なものや資源化の4Rの普及啓発に努め、ごみの減量とリサイクルの推進を図ります。また、25年度から始めた使用済み小型家電リサイクルは、小型家電回収ボックスを活用した拠点回収を本格実施します。稲荷山環境センターは、施設の延命化を図るとともに、計画的な改修にあわせ、省エネルギー化に取り組みます。

【重点事業と予算】
▼住宅用太陽光発電システム設置補助事業費：1千万円 ▼緑地指定公有地化事業費：3千286万円 ▼稲荷山環境センター設備改修事業費：5千585万4千円



新築された祇園保育所

仕事と子育ての両立支援は、水富地区と稲荷山地区に民間認可保育所が開園するとともに、移転・新築された祇園保育所の定員増を図ったことにより、計画に定めた保育所定員数2千人を上回り、待機児童の解消が見込まれます。また、笹井保育所の除湿温度保持工事を実施するとともに、狭山台南保育所の除湿温度保持工事の設計を実施し、保育環境の改善を図ります。さらに、水富小学児童保育室と広瀬小学児童保育室を整備し、保育環境の改善を図ります。

元気で幸せに暮らせる
まちをめざして【健康福祉】

新園舎で開所予定の祇園保育所をはじめ、広瀬台地区と稲荷山地区に2つの民間保育園が開所することで、さらなる待機児童の解消を図ります。また、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進するため、「狭山市子ども・子育て支援事業計画」の策定に取り組みます。

「都市基盤の整備」では、狭山市駅東口土地区画整理事業区域内の狭山市駅加佐志線と菅原富士見台線の開通により、狭山市駅への利便性を図るとともに、狭山市駅上諏訪線などの道路網の整備を進めます。

26年度予算案の総括

この結果、一般会計の予算額は、前年度対比10.6%増の459億3千万円となりました。また、特別会計は、狭山市駅東口土地区画整理事業が減額、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療が増額となり、合計では、前年度対比3.8%増の288億5千110万5千円、公営企業会計96億711万8千円を加えた全会計の予算規模は、前年度対比8.0%増の843億8千822万3千円となりました。

快適で魅力のある
まちをめざして【都市基盤】

公園整備は、県が市や地域住民と協働で取り組んでいる「川のまこと再生プロジェクト」において、本市では、中心市街地のまちづくりと連携して、トイレ、ベンチの整備を行い、にぎわいの創出に取り組みます。

狭山市駅東口土地区画整理事業は、地区の骨格となる都市計画道路狭山市駅加佐志線と菅原富士見台線の供用を開始するとともに、残る区画道路の整備や建物移転などを積極的に進め、平成27年度の工事完了を目指します。

また、土地開発公社が先行取得している入曽駅西口の自転車駐車場用地を買い戻し、引き続き放置自転車対策に取り組みます。

土地利用転換推進事業は、市街化調整区域内の工業地もしくは住宅地としての立地条件を備えた地区について、権利者の意向に十分配慮しながら、効果的な土地利用転換を推進するため、土地利用の整備手法の検討を進めます。

都市計画道路狭山市駅上諏訪線整備は、中央児童館東交差点から国道16号までの区間について、用地買収を進めます。

「市民の安全・安心」では、地域防災計画の見直しや27年度完了に向けた学校校舎・体育館の耐震補強を進めるとともに、中央図書館、市営住宅などの耐震化を図ります。

引き続き母子保健や予防接種事業の充実に取り組みます。

地域福祉の推進は、「狭山市地域福祉推進計画(仮称)」を社会福祉協議会との協働で策定します。また、多くの市民が地域の福祉活動に参加できるよう人材の育成などに努めるとともに、関係団体の立ち上げや相互交流・ネットワーク化の支援を図ります。さらに、地域福祉の中核を担う民生委員・児童委員の活動を支援していきます。

介護予防・介護サービスの充実 は、地域包括ケアを引き続き推進するとともに、高齢者の実態や多様なニーズを捉え、新たな事業計画の策定に取り組みます。

障害者自立支援の促進は、地域社会での共生の実現を目指し、第3次障害者福祉プランの策定に取り組みます。

【重点事業と予算】
▼民間保育所児童入所委託事業費：12億7千680万円 ▼公立保育所改修整備事業費：1億229万8千円 ▼児童保育室改修整備事業費：4千958万4千円 ▼保健センター管理事業費：5千710万円 ▼地域福祉活動参加促進事業費：537万2千円 ▼地域福祉支援体制整備事業費：3千122万4千円 ▼障害者福祉事業費：3千343万8千円